

日本ランキング作成委員会では、これまでエリート選手のものに限って、発表されてきた「日本ランキング」をより多くのオリエンティアに利用していただくことを狙いとして、検討を進めている。その最も大きな技術的課題は、いわゆる「名寄せ」(同姓同名の見分け)である。

解決は生年月日と組合せ

日本ランキング作成委員会としては、いわゆる名寄せ問題を、生年月日と氏名の組み合わせによりコード化する方向で解決していく方針である。

例えば、1966年2月14日生まれの羽鳥和重は、
ID:1966 02 14 はとり かずしげ
あるいは、
1966 02 14 HATORI KAZUSHIGE
といったところでしょうか。

ランキング発表時にこのコードが併記されることは、紙面の都合上ないでしょうが、ランキング原データはこのIDで管理されていきます。

オリエンテーリングでは、年齢別のカテゴリー分けを行う関係上、大会エントリーの際の生年月日登録は必至ですので、問題はないでしょう。従来、年齢が成績表に載るのは、やむをえないとしても、生年月日までランキングのデータベースに載るのは、個人情報保護の観点からどうかという方もいるかと思いますが。

しかし、生年月日を名前に付して管理するという手法は、このような多数の個人情報を処理する場合、よく使われていることです。例えば、この春から、いわゆるペイオフが本格実施される金融機関では、「名寄せ」に生年月日を利用するため、データの整備を行っています。生年月日は、氏名と並んで、保護すべき個人情報とされないと考えられているからです。

したがって、この方法を利用することにより、今後の日本ランキング大衆化の中で、現在検討をしております。

日本スプリントランキング

前号で発表した日本スプリントランキング(NSR)については、本格導入に向け、試行を始めていますが、京葉大会終了後の計算をしましたのでお知らせします。

NSRに関する詳細はOマガジン2月号を参照していただくとして、まだ試行段階ですのでご意見、コメント等がありましたらお知らせ下さい。

以下、理解を深めるために今回の計算結果に関して説明を加えます。

今回の京葉大会はNクラス以外は同一コースだったので、全クラスの参加者に得点計算を行っています。また対象大会数、参加者数を考慮して今回もベスト2レースのポイント平均で順位付けしました。1年前の千葉で行われた大会も残っております。

今回の女子は参加者の中で直前最高得点者が田島利佳(94.0)でしたので、それを元にトップ比得点が $94 \times 0.8 =$

75、これに順位点20を加えた95が田島の得点となっています。優勝はしたものの、上位の番場、宮内不参加のため、直前の94点に比べて1ポイント多い得点の獲得に留まりました。順位では2位の塩田も、田島から1分以上(8%強)遅れているので、それほど高くない得点に終わっています。これはこの方式がトップ比得点(80%)と順位得点(20%)を併用していることで、思惑通りの結果です。

従来のカテゴリー分けが自動的に行われたとご理解下さい。また、この方法ではエントリーのみで不出走の選手はカウントされないことにもご注目下さい。

男子は高橋が直前の最多得点保持者の山口を破っての1位なので問題なく100点獲得。男子は一気に160位まで順位が付きましました。紙面の都合上、掲載は、20位までですが、詳細はホームページにてお楽しみください。

日本スプリントランキング試行版 (男子)

順位	氏名	得点	千葉	W	セレ	CC7	WOC	大高	エア	京葉
1	山口大助	100.0	91	95		100		100	97	
1	高橋善徳	100.0	81	100	90			94	100	
3	鹿島田浩二	95.0	50	90	92			98	91	
3	松澤俊行	95.0	69	97				74	93	
5	加藤弘之	94.5	100					89		
6	円井基史	90.5	93	63			88	79		
7	小泉成行	89.5	89	79	80		90		88	
8	篠原岳夫	87.0	66					92	82	
9	紺野俊介	85.5		70	86				85	
10	西尾信寛	83.5			71		81	86	76	
11	安斎秀樹	82.0	86	78			60			
12	多田宗弘	76.5	79		59		74			
13	加賀屋博文	76.0	65		68		68	84		
14	柳下大	73.5	72	75			51			
15	櫻本信一郎	72.5			58		71		74	
16	新隆徳	71.5	48				66	72	71	
17	坂本貴史	68.5	60		77					
17	田所真之	68.5	54					70	67	
19	和泉憲昌	68.0	47	68					68	
20	菅原琢	67.0	57				77			

ランキング対象大会募集

日本スプリントランキングでは、今後の対象大会として、以下を考えています。大会の詳細が不明のものもあり、現時点ではあくまで予定です。

3/26 インターハイ併設スプリント

4/ 3 WOC/JWOC 選考会

4/17 サン・スーシ大会

また、この他にも、スプリントランキング対象大会を募集しています。全国的なランキングを目指していますので、特に関西地区などでの、スプリントレースを計画の方は、是非ともお問い合わせください。

問い合わせはメールで、

日本ランキング作成委員会 宮川達哉

miyakawa@a2.ocv.ne.jp

ランキング表彰、間近!

例年通り、ランキングの年間チャンピオンの表彰を全日本大会表彰式に併せておこないます。持ち回りのクリスタルカップは、誰の手に。

日本ランキング作成委員会では、今後新たなランキングを模索していますが、今年度のランキング年間チャンピオン表彰は、従来どおりの方式で行います。

今年が最後となる順位点方式の年間チャンピオンの行方は

年間チャンピオン決定まで、残されたレースは、インカレと全日本だが、インカレは出場該当者が上位にいないので関係なし。全日本は、ボーナスポイントが3ポイントはいい、通常のレースより高配点となる。また、前回全日本大会の配点は失効する。

男子の場合、前回全日本大会を除いても4勝している松澤がすでに100点を確保しており、それに続く3勝の山口は、全日本大会で優勝すれば、逆転が可能。

女子は、番場と田島が2位以上で相手を上回れば、年間チャンピオンに決定する。両者が3位以下になった場合、塩田と落合にもチャンスがある。

今年の全日本大会は、8月に行われる世界選手権大会の国内選考会ともなっており、男女とも全日本大会の結果が注目されることです。

日本スプリントランキング試行版(女子)

順位	氏名	得点	千葉	W	セレ	CC7	前	WOC	大高	エア	京葉
1	宮内佐季子	99.0			74	98	100				
2	番場洋子	95.5			91	100					
3	田島利佳	94.5	94	78				78	94	95	
4	渡辺円香	93.5	100	80				74	87	83	
5	金子恵美	92.0	77	100					84	71	
5	落合志保子	92.0		94	90				89		
7	塩田美佐	87.5	82	88						87	
8	酒井佳子	83.5						92	75		
9	加納尚子	82.5		70				68	80	85	
10	志村直子	80.5	54	66				84		77	
11	皆川美紀子	79.5			85				74	63	
12	元木友子	79.0		78	80						
12	高野麻記子	79.0						84		74	
14	三好暢子	71.0	70		68			72			
15	黒河幸子	64.5							70	59	
16	山口季見子	61.5							65	58	
17	原響子	37.5			75						
18	花木睦子	34.5								69	
19	宮本知江子	33.5	67								
20	深沢博子	33.0								66	

全日本大会にて表彰を行う従来どおりの方式によるランキング(早大大会まで)

男子		
1	松澤俊行	103
2	山口大助	97.
3	高橋善徳	88
4	紺野俊介	86
5	篠原岳夫	83
6	鹿島田浩二	79
7	小泉成行	72
8	加藤弘之	65
9	加賀屋博文	61
10	西尾信寛	58
女子		
1	番場洋子	80
2	田島利佳	77
3	塩田美佐	68
4	落合志保子	67
5	元木友子	61
6	金子恵美	55
7	皆川美紀子	46
8	宮内佐季子	45
8	渡辺円香	45
10	加納尚子	42
10	姫野祐子	42